

満たされる好奇心。

難解な事件に巧妙なトリック、暴かれた真実が生むカタルシス。そんな極上の「謎」を私たち読者にもたやすミステリー作家は、紙の上の大いなる魔術師です。日本初の本格探偵小説を手がけた江戸川乱歩は、探偵作家クラブ（現・日本推理作家協会）を設立し、「探偵作家クラブ賞」（現・日本推理作家協会賞）や「江戸川乱歩賞」の制定などに尽力し、今日に至る日本のミステリー小説の礎を築きました。

本展では、乱歩をはじめ、現代ミステリー作家の推しの跡が残る原稿や創作ノート、愛用品などを通して、物語の背後に潜む作家の思考の軌跡を辿り、ミステリー小説の魅力と「謎」の裏側に迫ります。詳しくは右記2次元コードで確認してください。



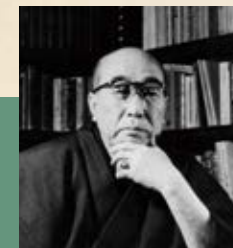
▲企画展の詳細

主催 市川市

(一社)
日本推理作家協会

協力

現・代表理事



江戸川乱歩
1947年 探偵作家クラブ
(現・日本推理作家協会)
を設立

写真提供:立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター

ミステリー作家Talk Show

ミステリー小説の魅力や作品への想い、作家を目指したきっかけ、デビュー前と後の変化、プライベートの過ごし方など。日本推理作家協会代表理事である貫井徳郎氏をMCに迎え、各回3人の作家・書評家の方々に語っていただきます。

日時	出演
令和8年 1月18日(日) 開場 午後1時 開演 午後1時30分	2025年第78回日本推理作家協会賞受賞者 古泉遼十、久永実木彦、杉江松恋 MC:貫井徳郎
令和8年 1月25日(日) 開場 午後1時 開演 午後1時30分	芦沢央、小川哲、京極夏彦 MC:貫井徳郎

場メディアパーク市川 グリーンスタジオ
申込順各220人
12月2日(火)午前10時から右記2次元コードで申し込み



企画展の概要



文学ミュージアム企画展

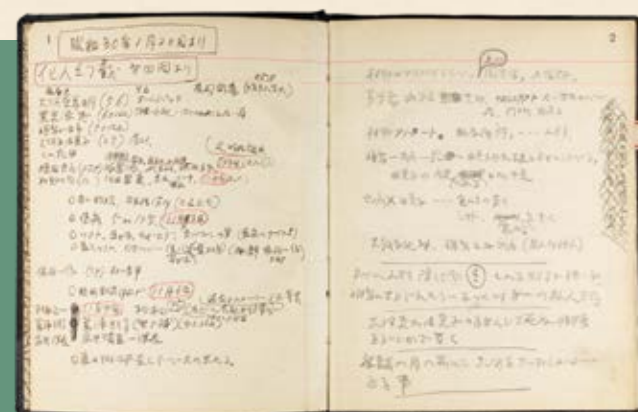
A Piece of MYSTERY 現代ミステリー作家の創作と思考

11月22日(土)～令和8年2月1日(日)

開館時間＝午前10時～午後7時30分(土・日曜日・祝日は午後6時まで)入室は閉館の30分前まで
休館日＝毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌平日)、館内整理日(毎月最終平日、12月を除く)、
年末年始(12月28日(日)～令和8年1月4日(日))

場文学ミュージアム 本八幡駅からニッケコルトンプラザ行きの無料バスも利用可能。

¥一般500円、65歳以上400円、高校生・大学生250円、中学生以下無料



江戸川乱歩

創作ノート 1955年1月20日～



伊坂幸太郎

『ベッパーズ・ゴースト』
(文庫版)校正原稿



袖月裕子

『逃亡者は北へ向かう』
創作ノート



川瀬七緒

愛用品 プライス人形
(自作の服着用)



貫井徳郎

文庫版『慟哭』特別限定版
2003年東京創元社

展示資料の紹介

展覧会紹介
作家一覧
(五十音順)

青柳碧人、伊坂幸太郎、石川智健、乙一、神永学、川瀬七緒、貴戸湊太、
小島環、呉勝浩、白川尚史、辻村深月、貫井徳郎、猫森夏希、葉真中顕、
宮内悠介、葉丸岳、夕木春央、床品美帆、袖月裕子



本展で紹介

- 「ミステリー小説『エレガンス』」のできるまで」と題して、本市在住の石川智健著『エレガンス』の執筆のきっかけから刊行までの流れを創作資料とともに紹介します。
- 本市に居住したことがある日下圭介(1940～2006年)、楠田匡介(1903～1966年)、伴野朗(1936～2004年)の原稿や愛用品などを紹介します。

▶石川智健『エレガンス』
2025年河出書房新社

第8回
細谷正充賞受賞



東京大空襲
洋装女性連続不審死
『エレガンス』
石川智健著
河出書房新社

本市ゆかりの
ミステリー作家

企画展図録

企画展図録は2部構成となっており、Iは写真や図表を用いたビジュアル版企画展紹介ページとし、IIには現代ミステリー作家・書評家・評論家による市川をテーマとした特別寄稿作品20編を掲載しています。

【寄稿文執筆一覧】(五十音順)

芦沢央、石川智健、大倉崇裕、神永学、川瀬七緒、貴戸湊太、京極夏彦、今野敏、佐藤究、佐藤青南、真保裕一、杉江松恋、千街晶之、月村了衛、西上心太、貫井徳郎、葉真中顕、三橋暁、葉丸岳、吉田伸子

